

東松山市立北中学校 第1学年 「英語科」シラバス

教科の目標

* 英語に興味関心を抱き、自ら初歩的な英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする。
 * 初歩的な英語を使って、相手の意向を理解し、かつ身の回りのことを表現できる。

【評価の観点】

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【評価の方法】

- 定期テスト、小テストによる評価
- パフォーマンステスト
- 宿題、ノート、作品等の評価
- 発展的学習（課題作文）への取り組み等
- 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が積極的、意欲的に取り組むことができるよう、教材の工夫や教具の充実を図る。
- ALT との会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- フォニックスなど音を重視した学習指導の工夫
- CDやビデオ、プロジェクター等の視聴覚機器を利用した学習の工夫
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学習した英語表現、アルファベット、大文字・小文字 ・ be動詞、一般動詞 ・ This is, 助動詞can ・ What, Who, How, When, Where ・ How many...? What+名詞...? 命令文 ・ Stage Activity 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学習した英単語や英語表現を読んだり書き写したりすることができる。 ・ 自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。 ・ 身近な人や物について紹介したり、尋ねたりすることができる。 ・ 知らないものや人、いつ・どこなのかを尋ねることができる。 ・ 数や時刻、好きなものについて尋ねたり、指示や助言をしたりすることができる。 ・ 自分の好きなことについて繋がりのある文章を書くことができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三人称単数現在形(肯定・否定・疑問) ・ 代名詞, Whose, Which ・ Can I...? Can you...? ・ 現在進行形 ・ How, What (感嘆文) ・ 道案内(質問・説明) ・ 不定詞 look+形容詞 ・ レストラン(注文) ・ Stage Activity 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と相手以外の人や物などについて、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・ 自分と相手以外の人について話したり誰のものかを尋ねたりすることができる。 ・ 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・ 今していることについて説明したり尋ねたりすることができる。 ・ 徒歩での道順を尋ねたり教えたりすることができる。 ・ したいことやする必要のあることについて説明したり、尋ねたりできる。 ・ 注文したり質問に答えたりすることができる。 ・ 好きな有名人などについて尋ねたり説明したりすることができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般動詞の過去形(肯定・疑問・否定) ・ 旅先からの便り ・ be動詞の過去形、過去進行形、There is[are] ・ 病院にて ・ Stage Activity 3 ・ 物語文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の出来事について説明したり、尋ねたりすることができる。 ・ 旅先からの絵はがきを書くことができる。 ・ 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・ 症状や出来事を伝えることができる。 ・ 思い出に残った学校行事について発表することができる。 ・ 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。

東松山市立北中学校 第2学年 「英語科」シラバス

教科の目標

- * 英語に興味関心を抱き、自ら初歩的な英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする。
- * 初歩的な英語を使って、相手の意向を理解し、かつ身の回りのことを表現できる。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】**
- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
 - コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
 - 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
- 【評価の方法】**
- 定期テスト、小テストによる評価
 - パフォーマンステスト
 - 宿題、ノート、作品等の評価
 - 発展的学習（課題作文）への取り組み等
 - 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が積極的、意欲的に取り組む授業の充実を図る。
- ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- フォニックスなど音を重視した学習指導の工夫
- CDやテープ、ビデオ等視聴覚機器を利用した学習の工夫
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形 ・be going to do Will, SVOO, SVOC ・接続詞 When, If, Because, think(that) ・不定詞 (副詞的・名詞的・形容詞的用法) It is ...+ to+動詞 ・Stage Activity 1 ・仕事についてのインタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだことを用いて、自分が春休みにしたことを話すことができる。 ・旅行の予定を説明したり、海外で経験できることについて伝えたりすることができる。 ・好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。 ・将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 ・自分が一番好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's read 1 History of Clocks ・ have to don't have to must, must not 動名詞 ・疑問詞+to、 主語+動詞+(人)+疑問詞+to、 主語+be動詞+形容詞+that ・比較表現 最上級表現 ・ Stage Activity 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文を読み、時計の歴史を読み取り説明したりすることができる。 ・海外との生活習慣や文化の違いを知り取るべき行動についての考えを伝えることができる。 ・誰もが暮らしやすい社会について考えその方法などについて伝え合うことができる。 ・身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 ・自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's read 2 A Glass of Milk ・受け身 助動詞付きの 受け身 ・既習事項の総復習 ・ Stage Activity 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。 ・世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。 ・自分の町のおすすめの場所について書き、相手のその場所の特徴やよい点を伝えることができる。 ・自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。

東松山市立北中学校 第3学年 「英語科」シラバス

教科の目標

- *英語を聞いて、短い説明の要点をとらえることができるようにする。
- *社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができるようにする。
- *社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- *書くことに慣れ親しみ、自分の考えなどを書くことができるようにする。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】**
- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。
 - コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
 - 外国語の背景にある文化に対する理解を深め聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
- 【評価の方法】**
- 定期テスト、小テストによる評価
 - パフォーマンステスト
 - 宿題、ノート、作品等の評価
 - 授業中の態度、発言・発表のようす

特色ある学習方法

- JTE(ALT)との会話、生徒同士の会話を意欲的に行えるような場面設定の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了(経験)、 現在完了(経験)の疑問文とその応答、 make+代名詞+形容詞 SVOO (that 節) ・現在完了(完了) 現在完了(継続) 現在完了進行形 ・It is 形容詞for…to do ・want+ (人) +to+動詞 ・Let[help]+人など+動詞 ・Stage Activity 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。 ・人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。 ・絶滅の恐れのある動物について知り、大切なことやとるべき行動について伝えることができる。 ・日本や郷土の文化などについて、説明することができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文 ・SVOO (what節) ・現在分詞・過去分詞の後置修飾、間接疑問文 ・名詞を修飾する文 ・関係代名詞 (who, that, which)の主格 目的格、後置修飾 ・Stage Activity 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、安全への意識を高め、地域の一員としてとるべき行動を考えて伝え合うことができる。 ・ガンディーの功績を知り平和や人権の意味について考えることができる。 ・これまでの経験を振り返って活動報告を発表することができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 I wish... If+主語+were...,~ If+主語+動詞の過去形 ・主語を説明する関係代名詞 ・Stage Activity 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・国を超えて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。 ・主張をその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。